

(毎月分配型)

第54期末(2017年8月21日)	
基準価額	8,531円
純資産総額	50,391百万円
第49期～第54期	
騰落率	△ 7.3%
分配金(税込み)合計	420円

(3ヵ月決算型)

第17期末(2017年8月21日)	
基準価額	8,260円
純資産総額	8,805百万円
第16期～第17期	
騰落率	△ 7.4%
分配金(税込み)合計	0円

(年2回決算型)

第9期末(2017年8月21日)	
基準価額	12,752円
純資産総額	15,768百万円
第9期	
騰落率	△ 7.4%
分配金(税込み)合計	0円

(為替ヘッジあり)(毎月分配型)

第6期末(2017年8月21日)	
基準価額	9,381円
純資産総額	23百万円
第1期～第6期	
騰落率	△ 6.0%
分配金(税込み)合計	15円

(為替ヘッジあり)(年2回決算型)

第1期末(2017年8月21日)	
基準価額	9,402円
純資産総額	33百万円
第1期	
騰落率	△ 6.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

# LM・アメリカ高配当株ファンド

(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型) /  
(為替ヘッジあり)(毎月分配型) /  
(為替ヘッジあり)(年2回決算型)

追加型投信 / 海外 / 資産複合

## 交付運用報告書

(毎月分配型)	(為替ヘッジあり)(毎月分配型)
第49期 決算日 2017年3月21日	第1期 決算日 2017年3月21日
第50期 決算日 2017年4月20日	第2期 決算日 2017年4月20日
第51期 決算日 2017年5月22日	第3期 決算日 2017年5月22日
第52期 決算日 2017年6月20日	第4期 決算日 2017年6月20日
第53期 決算日 2017年7月20日	第5期 決算日 2017年7月20日
第54期 決算日 2017年8月21日	第6期 決算日 2017年8月21日
(3ヵ月決算型)	(為替ヘッジあり)(年2回決算型)
第16期 決算日 2017年5月22日	第1期 決算日 2017年8月21日
第17期 決算日 2017年8月21日	
(年2回決算型)	
第9期 決算日 2017年8月21日	

作成対象期間 (2017年2月21日～2017年8月21日) 作成対象期間 (2017年3月6日～2017年8月21日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、「LM・アメリカ高配当株ファンド(毎月分配型) / (3ヵ月決算型) / (年2回決算型) / (為替ヘッジあり)(毎月分配型) / (為替ヘッジあり)(年2回決算型)」は、2017年8月21日に決算を行いました。当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00～17:00)

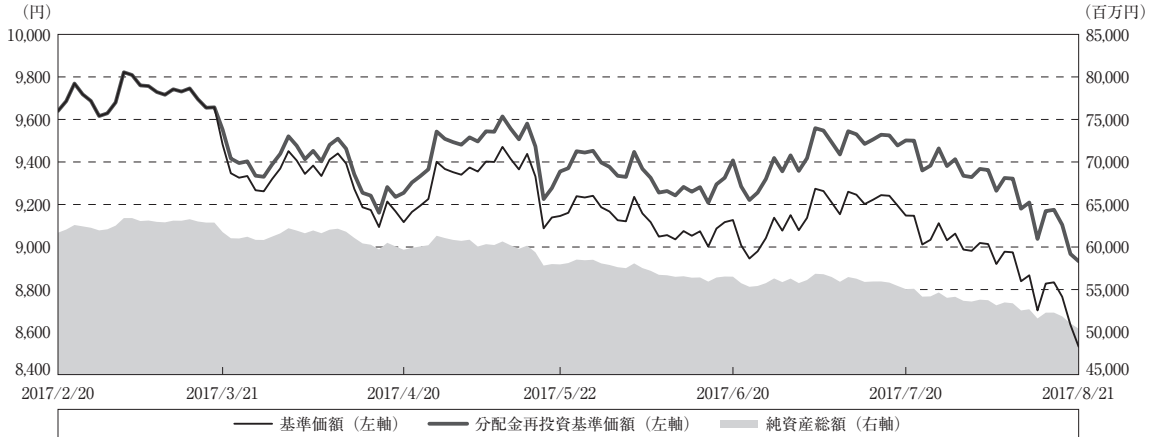
<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

&lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年2月21日～2017年8月21日）



第49期首：9,640円

第54期末：8,531円（既払分配金(税込み):420円）

騰落率：△ 7.3%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年8月21日）のL M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は8,531円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス7.3%（分配金再投資ベース）、基準価額は689円（分配金込み）下落しました。

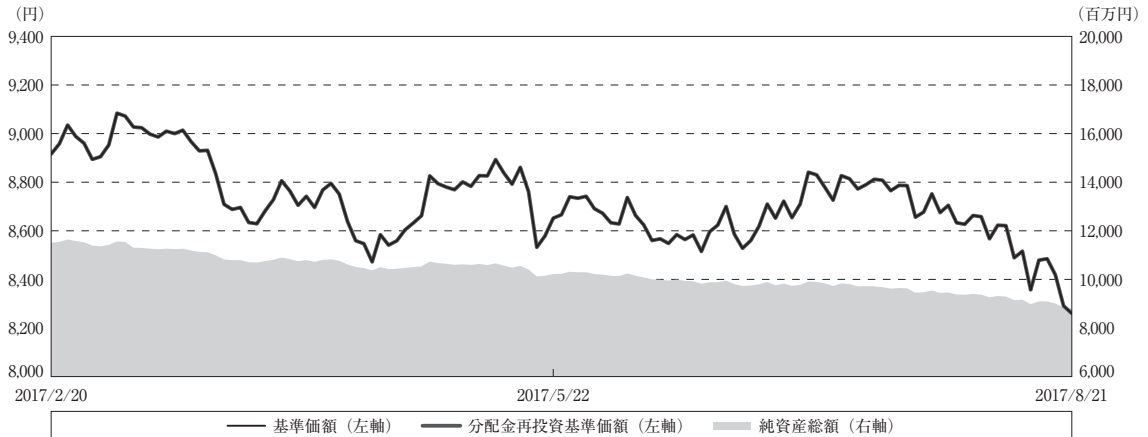
MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場、REIT（リート）市場が下落した影響などから、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

## 運用経過

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年2月21日～2017年8月21日）



第16期首：8,916円

第17期末：8,260円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 7.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年8月21日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は8,260円となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス7.4%、基準価額は656円下落しました。

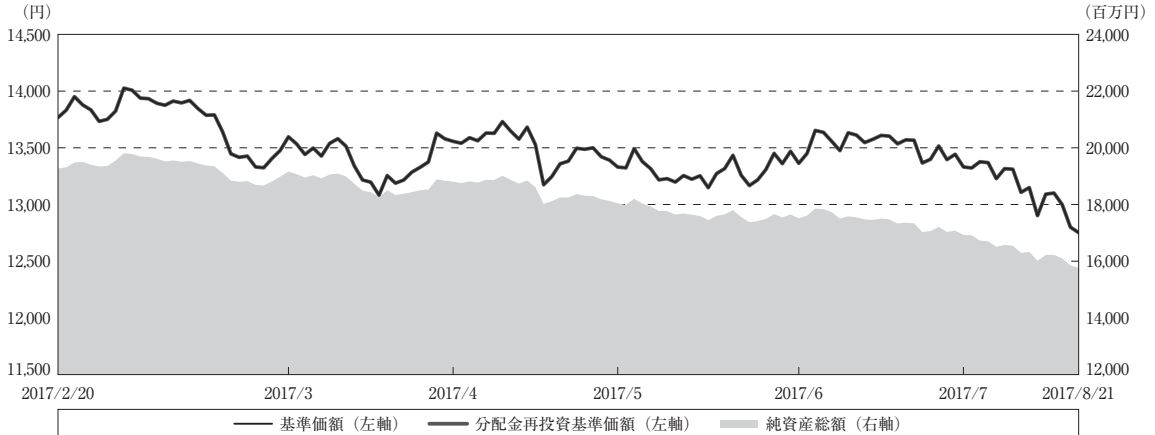
MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場、REIT（リート）市場が下落した影響などから、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

## 運用経過

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 期中の基準価額等の推移

（2017年2月21日～2017年8月21日）



期首：13,767円

期末：12,752円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 7.4%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2017年2月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

期末（2017年8月21日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は12,752円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス7.4%、基準価額は1,015円下落しました。

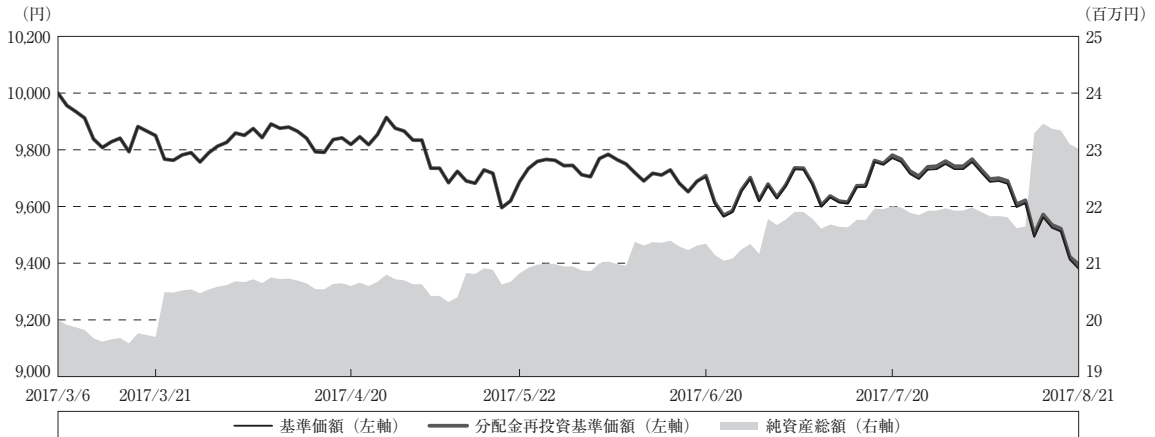
MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場、REIT（リート）市場が下落した影響などから、株式要因はマイナスとなりました。為替要因についても、米ドル安・円高を受けてマイナスとなりました。

## 運用経過

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型） &gt;

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2017年3月6日～2017年8月21日）



設定日：10,000円

第6期末：9,381円（既払分配金(税込み)：15円）

騰落率：△ 6.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2017年8月21日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は9,381円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス6.0%（分配金再投資ベース）、基準価額は604円（分配金込み）下落しました。

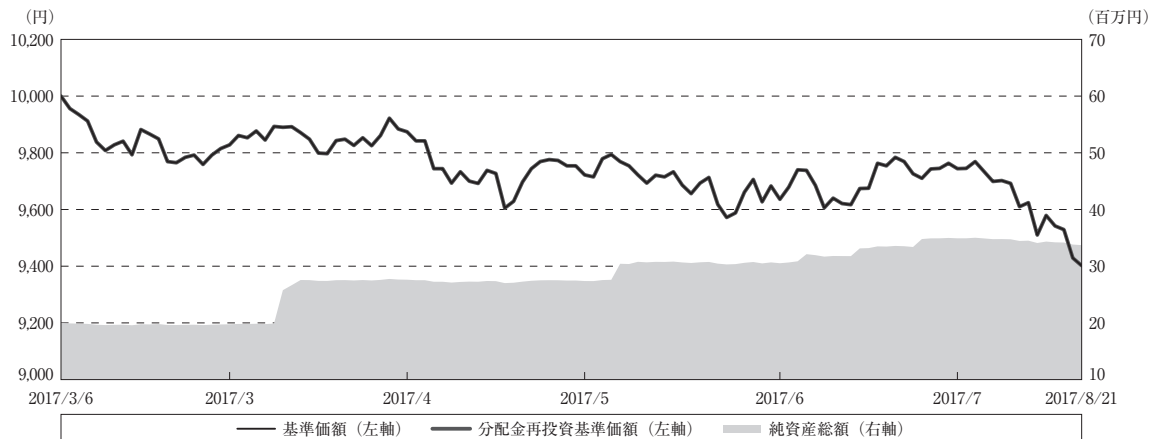
MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場、REIT（リート）市場が下落した影響などから、株式要因はマイナスとなりました。

## 運用経過

< LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型） >

期中の基準価額等の推移

（2017年3月6日～2017年8月21日）



設定日：10,000円

期末：9,402円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 6.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

期末（2017年8月21日）のLM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型）（以下、当ファンド）の基準価額は9,402円となりました。当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス6.0%、基準価額は598円下落しました。

MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）市場、REIT（リート）市場が下落した影響などから、株式要因はマイナスとなりました。

## &lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年2月21日～2017年8月21日）

項 目	第49期～第54期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 87	% 0.937	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(42)	(0.458)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(42)	(0.458)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.019	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	( 0)	(0.004)	
（M L P）	( 1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	( 0)	(0.000)	
（M L P）	( 0)	(0.000)	
(d) その他費用	6	0.064	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	( 0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	( 0)	(0.002)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	( 5)	(0.055)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	( 0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	95	1.020	
作成期間の平均基準価額は、9,270円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 1万口当たりの費用明細

（2017年2月21日～2017年8月21日）

項 目	第16期～第17期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 82	% 0.937	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(40)	(0.458)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(40)	(0.458)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.018	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	(1)	(0.008)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	(0)	(0.003)	
（M L P）	(1)	(0.007)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（株 式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	(0)	(0.000)	
（M L P）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	6	0.072	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(1)	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	(5)	(0.055)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	(0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	90	1.027	
作成期間の平均基準価額は、8,735円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年2月21日～2017年8月21日）

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	126	0.937	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	（ 62）	（0.458）	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（ 62）	（0.458）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	（ 3）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.019	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	（ 1）	（0.008）	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	（ 1）	（0.004）	
（M L P）	（ 1）	（0.007）	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	（ 0）	（0.000）	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	（ 0）	（0.000）	
（M L P）	（ 0）	（0.000）	
(d) その他費用	9	0.068	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 1）	（0.004）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	（ 0）	（0.003）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	（ 0）	（0.004）	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	（ 8）	（0.056）	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	（ 0）	（0.002）	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	138	1.024	
期中の平均基準価額は、13,488円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年3月6日～2017年8月21日）

項 目	第1期～第6期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 85	% 0.870	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(41)	(0.425)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(41)	(0.425)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.020)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
（株 式）	(1)	(0.006)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
（投資証券）	(0)	(0.004)	
（M L P）	(1)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 作成期間の有価証券取引税 ÷ 作成期間の 平均受益権口数
（株 式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する 税金
（投資証券）	(0)	(0.000)	
（M L P）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.077	(d) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.013)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(0)	(0.005)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
（その他1）	(5)	(0.054)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払 費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	(0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	95	0.963	
作成期間の平均基準価額は、9,752円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt; L M ・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型） &gt;

## 1 万口当たりの費用明細

（2017年3月6日～2017年8月21日）

項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	85	0.870	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(41)	(0.425)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(41)	(0.425)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.020)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.016	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	(1)	(0.006)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資証券）	(0)	(0.004)	
（M L P）	(1)	(0.006)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数
（株 式）	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資証券）	(0)	(0.000)	
（M L P）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	8	0.083	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.004)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.014)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(0)	(0.005)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（その他1）	(6)	(0.058)	M L P 投資に係る費用のうち、納税見込額の積立てによる未払費用（△の場合は、未払費用の組戻し）
（その他2）	(0)	(0.002)	権利処理に伴う費用（外国税額分も含む）
合 計	95	0.969	
期中の平均基準価額は、9,760円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

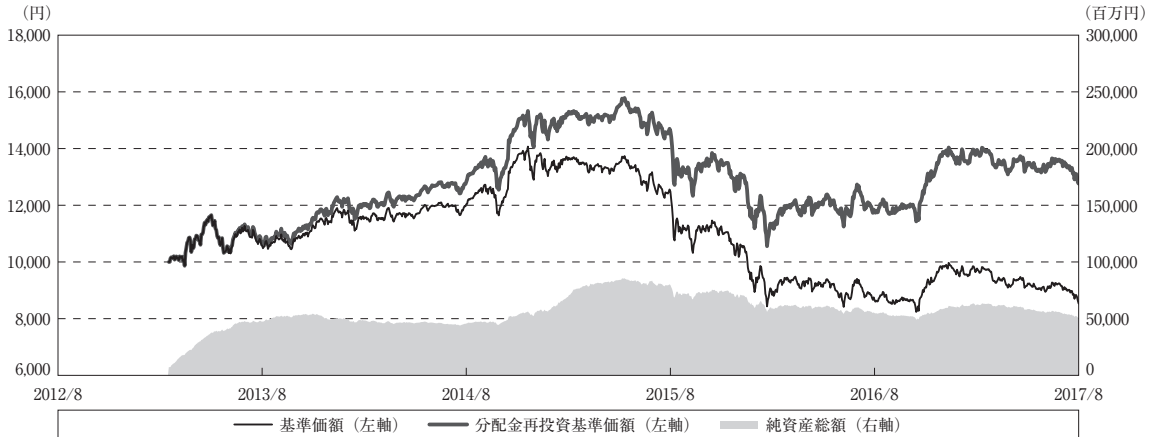
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2012年8月20日～2017年8月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

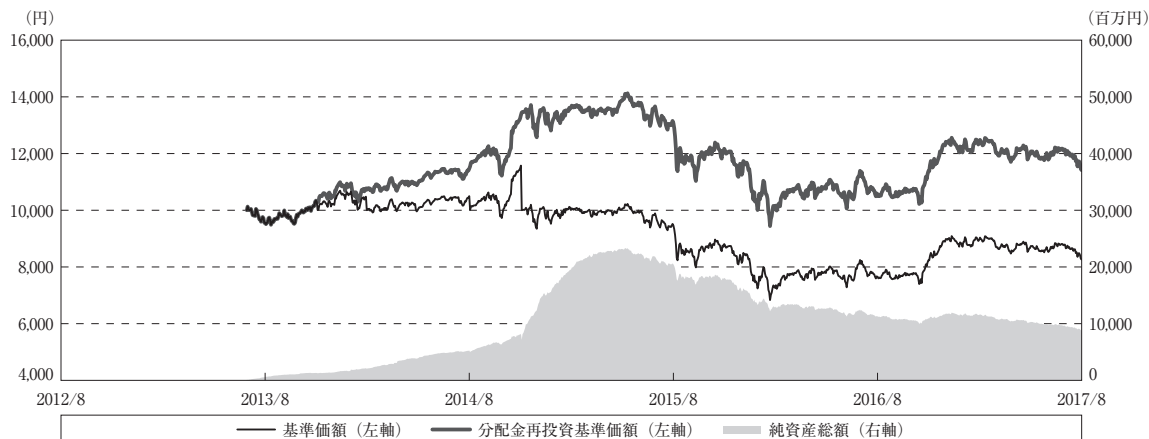
	2013年3月8日 設定日	2013年8月20日 決算日	2014年8月20日 決算日	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,483	12,048	12,194	8,655	8,531
期間分配金合計(税込み) (円)	—	150	640	1,290	1,390	840
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.3	21.5	11.6	△ 18.0	8.0
純資産総額 (百万円)	7,244	47,213	45,838	77,825	54,909	50,391

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2013年8月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年8月20日～2017年8月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年7月19日です。

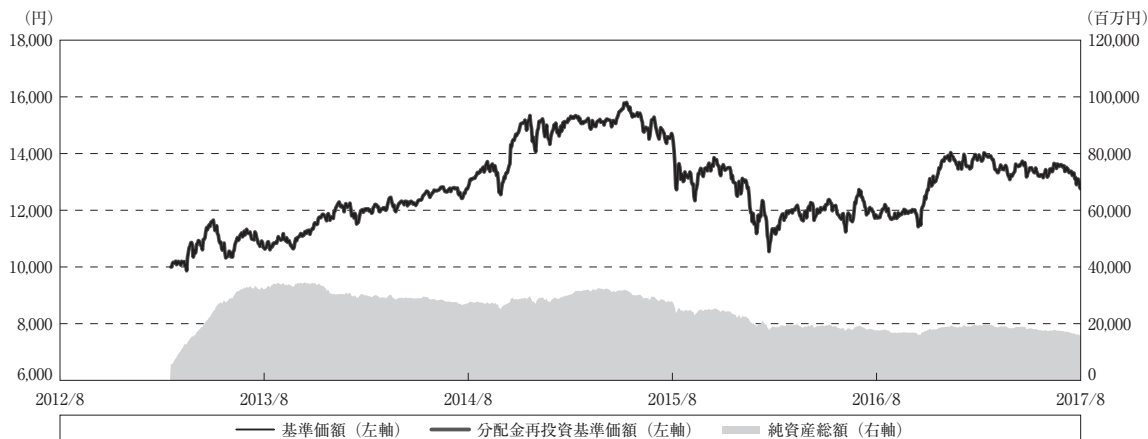
	2013年7月19日 設定日	2013年8月20日 決算日	2014年8月20日 決算日	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,508	10,010	9,333	7,648	8,260
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	1,460	1,930	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 4.9	21.5	11.7	△ 18.1	8.0
純資産総額 (百万円)	85	615	4,987	20,180	11,284	8,805

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2013年8月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年8月20日～2017年8月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2013年3月8日です。

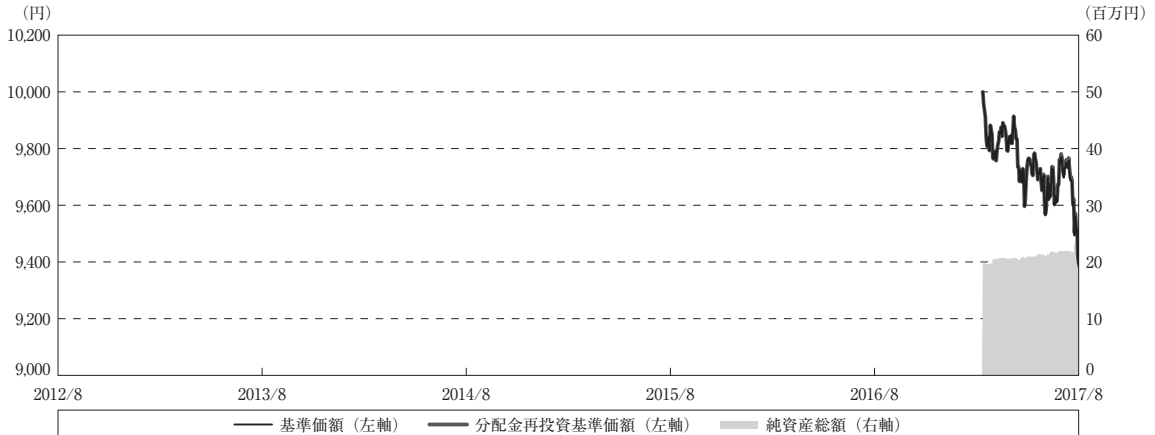
	2013年3月8日 設定日	2013年8月20日 決算日	2014年8月20日 決算日	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,629	12,918	14,421	11,804	12,752
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	6.3	21.5	11.6	△ 18.1	8.0
純資産総額 (百万円)	5,684	32,191	27,501	27,298	17,701	15,768

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2013年8月20日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年8月20日～2017年8月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2017年3月6日です。

	2017年3月6日 設定日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,381
期間分配金合計(税込み) (円)	-	15
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 6.0
純資産総額 (百万円)	20	23

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型） &gt;

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2012年8月20日～2017年8月21日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2017年3月6日です。

	2017年3月6日 設定日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	10,000	9,402
期間分配金合計(税込み) (円)	-	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 6.0
純資産総額 (百万円)	20	33

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較していません。



## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

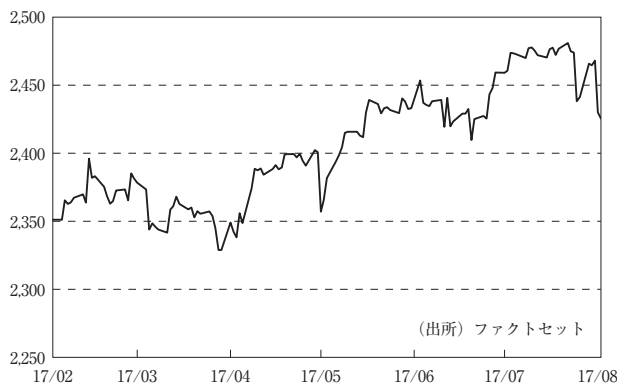
## 投資環境

(2017年2月21日～2017年8月21日)

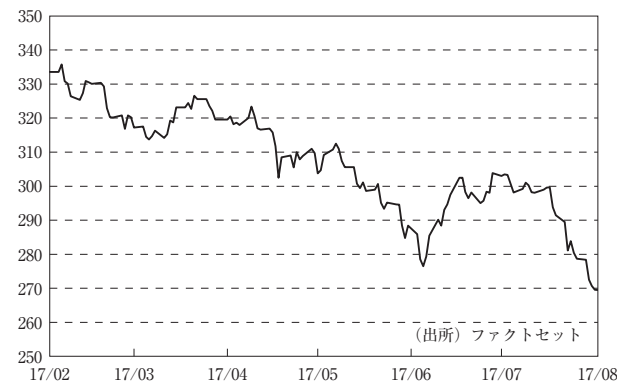
当作成期の米国株式相場は、上昇しました。期の前半は、トランプ政権による政策への期待等を背景に、株価は上昇して始まりましたが、同政権が重要課題とする医療保険制度改革法(オバマケア)の代替法案の採決が見送られ、政策運営を巡る不透明感が広がると、下落しました。シリアや朝鮮半島情勢の緊迫化を受けて地政学リスクの高まりが意識されたことも、株価の下落要因となりました。期の半ばは、混迷の様相を呈していたフランス大統領選の第1回投票が波乱なく終了し、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、株価は上昇しました。また、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融正常化の動きが緩やかになるとの見方が強まったことも、株価を押し上げる要因となりました。期の後半は、欧州中央銀行（ECB）総裁が金融緩和の縮小に前向きな姿勢を示したと受け止められ、欧州の株式相場が下落した影響から、株価の上値は重い展開となりました。その後、FRB議長の見聞証言を受けてFRBが利上げを急がないとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しましたが、作成期末にかけては北朝鮮情勢を巡る警戒感などから下落しました。

当作成期のMLP市場は、下落しました。期の半ばは、原油の供給過剰への懸念が意識され、原油価格が下落したことなどから、MLP市場は下落しました。その後、原油価格の反発を受けて、MLP市場は持ち直す場面も見られましたが、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、概ね上値の重い展開となりました。期の後半は、原油価格が供給過剰懸念等を背景に軟調となる中、MLP市場では売り圧力が強まる展開となりました。期の後半は、原油価格が上昇に転じる中、MLP市場は反発しました。しかしその後は、公募増資による需給の緩みが意識されたことに加え、一部のMLPの決算が市場予想を下回ったことなどから、MLP市場は下落しました。

米国S&amp;P 500指数の推移



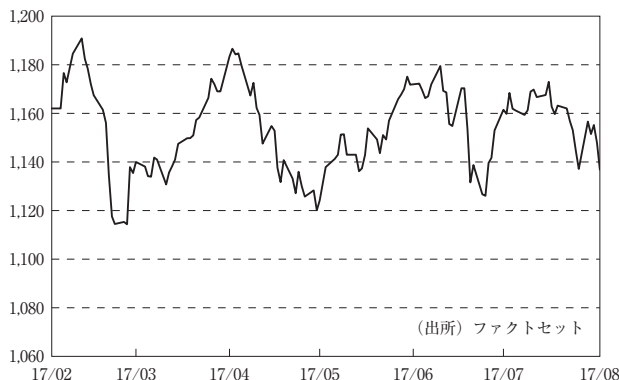
アレリアンMLP指数の推移



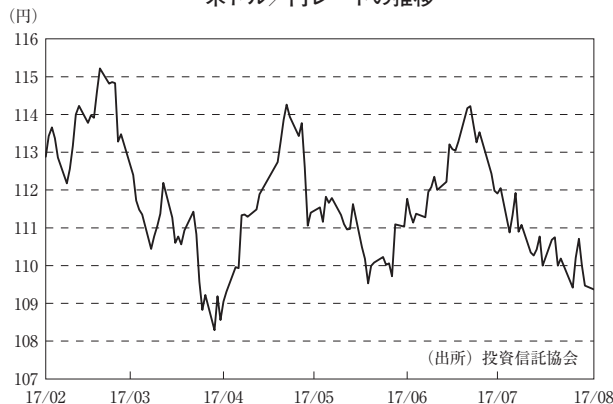
当作成期のリート市場は、下落しました。期の前半は、FRBによる利上げ観測を背景に米国国債利回りが上昇する中、リート市場は軟調となりました。しかしその後、FRBによる今後の利上げペースが緩やかなものにとどまるとの見方が広がり、米国国債利回りが低下すると、リート市場は反発しました。期の半ばは、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、リート市場は下落しました。しかしその後は、FRBによる金融正常化の動きが緩やかになるとの見方等を背景に米国国債利回りが低下したことなどから、リート市場は上昇に転じました。期の後半は、ECB総裁の発言をきっかけに債券利回りが世界的に上昇する中、リート市場は下落しました。その後は、FRB議長の議会証言を受けてFRBが利上げを急がないとの見方が広がり、米国国債利回りが低下したことなどから、リート市場は底堅く推移しましたが、作成期末にかけては、北朝鮮情勢への警戒感が意識されたことなどから、上値の重い展開となりました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル安・円高となりました。期の前半は、トランプ政権の政策運営を巡り不透明感が浮上したことや、FRBによる今後の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がったことなどから、米ドルは対円で下落しました。中東や朝鮮半島情勢の緊迫化から地政学リスクが意識されたことや、フランス大統領選を巡る不透明感が高まったことなども、米ドル売り・円買いを促す要因となりました。期の半ばは、フランス大統領選の結果を受けて欧州政治の先行き懸念が後退したことなどから、米ドルは対円で反発しました。しかしその後は、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が改めて広がったことなどから、米ドル売り・円買いが強まりました。期の後半は、FOMCにおいて追加利上げの決定とともにバランスシートの縮小を年内に開始する方針が示されたことを受け、米ドルは対円で上昇しました。しかしその後は、FRB議長の議会証言を受けてFRBが追加利上げを急がないとの見方が広がったことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。

MSCI US REIT指数の推移



米ドル/円レートの推移



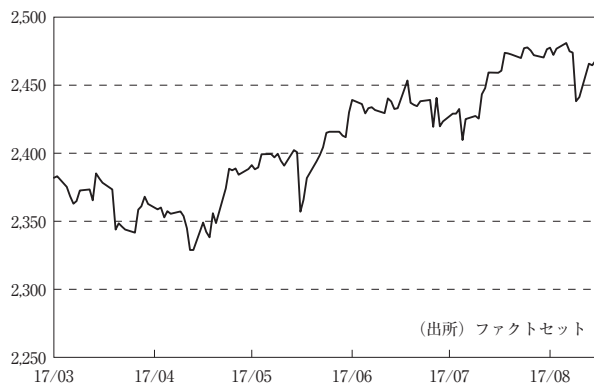
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）／（為替ヘッジあり）（年2回決算型） &gt;

## 投資環境

（2017年3月6日～2017年8月21日）

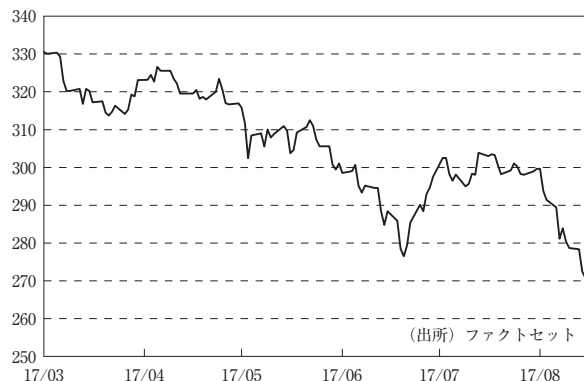
当作成期の米国株式相場は、上昇しました。期の前半は、トランプ政権が重要課題とする医療保険制度改革法（オバマケア）の代替法案の採決が見送られ、政策運営を巡る不透明感が広がったことから、株価は下落しました。シリアや朝鮮半島情勢の緊迫化を受けて地政学リスクの高まりが意識されたことも、株価の下落要因となりました。期の半ばは、混迷の様相を呈していたフランス大統領選の第1回投票が波乱なく終了し、投資家のリスク回避姿勢が後退したことから、株価は上昇しました。また、米連邦公開市場委員会（FOMC）議事録を受け、米連邦準備制度理事会（FRB）の金融正常化の動きが緩やかになるとの見方が強まったことも、株価を押し上げる要因となりました。期の後半は、欧州中央銀行（ECB）総裁が金融緩和の縮小に前向きな姿勢を示したと受け止められ、欧州の株式相場が下落した影響から、株価の上値は重い展開となりました。その後、FRB議長の議会証言を受けてFRBが利上げを急がないとの見方が広がったことなどから、株価は上昇しましたが、作成期末にかけては北朝鮮情勢を巡る警戒感などから下落しました。

米国S&amp;P 500指数の推移

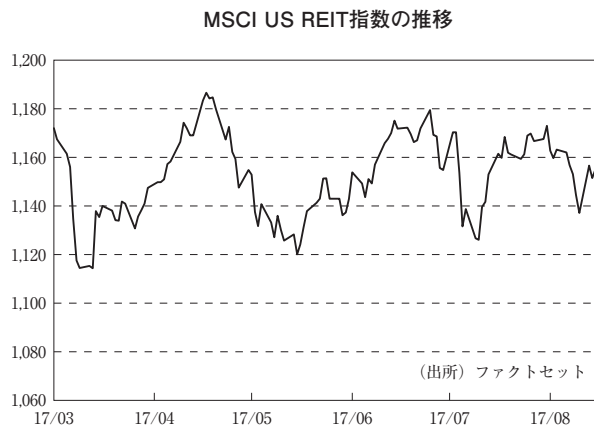


当作成期のMLP市場は、下落しました。期の半ばは、原油の供給過剰への懸念が意識され、原油価格が下落したことなどから、MLP市場は下落しました。その後、原油価格の反発を受けて、MLP市場は持ち直す場面も見られましたが、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、概ね上値の重い展開となりました。期の後半は、原油価格が供給過剰懸念等を背景に軟調となる中、MLP市場では売り圧力が強まる展開となりました。期の後半は、原油価格が上昇に転じる中、MLP市場は反発しました。しかしその後は、公募増資による需給の緩みが意識されたことに加え、一部のMLPの決算が市場予想を下回ったことなどから、MLP市場は下落しました。

アレリアンMLP指数の推移



当作成期のリート市場は、下落しました。期の前半は、FRBによる利上げ観測を背景に米国国債利回りが上昇する中、リート市場は軟調となりました。しかしその後、FRBによる今後の利上げペースが緩やかなものにとどまるとの見方が広がり、米国国債利回りが低下すると、リート市場は反発しました。期の半ばは、トランプ政権の政策運営を巡る不透明感が広がったことなどから、リート市場は下落しました。しかしその後は、FRBによる金融正常化の動きが緩やかになるとの見方等を背景に米国国債利回りが低下したことなどから、リート市場は上昇に転じました。期の後半は、ECB総裁の発言をきっかけに債券利回りが世界的に上昇する中、リート市場は下落しました。その後は、FRB議長の議会証言を受けてFRBが利上げを急がないとの見方が広がり、米国国債利回りが低下したことなどから、リート市場は底堅く推移しましたが、作成期末にかけては、北朝鮮情勢への警戒感が意識されたことなどから、上値の重い展開となりました。



< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） >

**当ファンドのポートフォリオ**

（2017年2月21日～2017年8月21日）

当ファンドは、主に「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）／（為替ヘッジあり）（年2回決算型） >

## 当ファンドのポートフォリオ

（2017年3月6日～2017年8月21日）

当ファンドは、主に「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLPおよび不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。また、当ファンドの実質組入れ外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を目指します。当作成期の運用においては、高水準の配当利回りが期待できる銘柄への投資を行いました。また、投資にあたっては、各銘柄の配当の継続性、配当の成長性、財務の健全性、株価の水準等に着目してポートフォリオの構築を行いました。

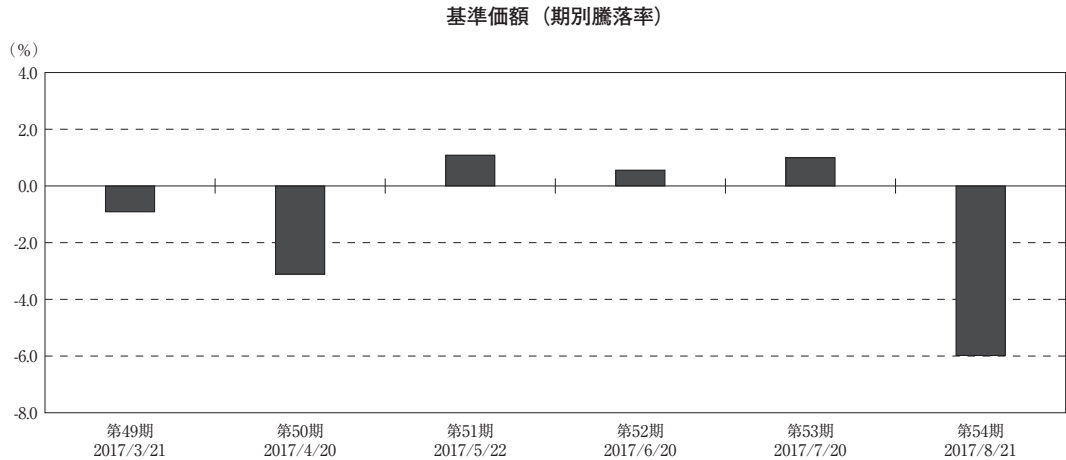
## &lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年2月21日～2017年8月21日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

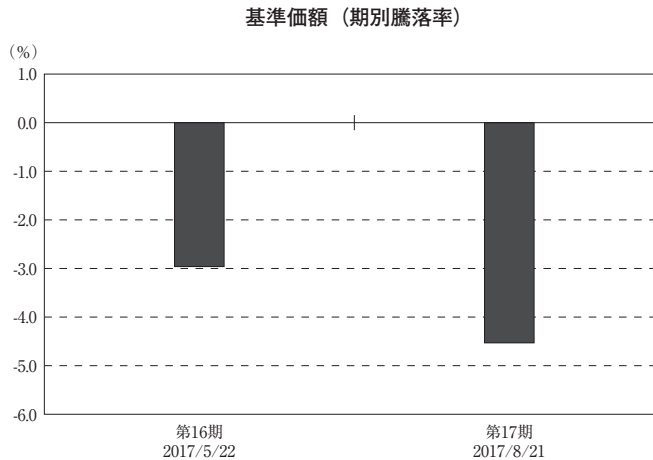
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年2月21日～2017年8月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。



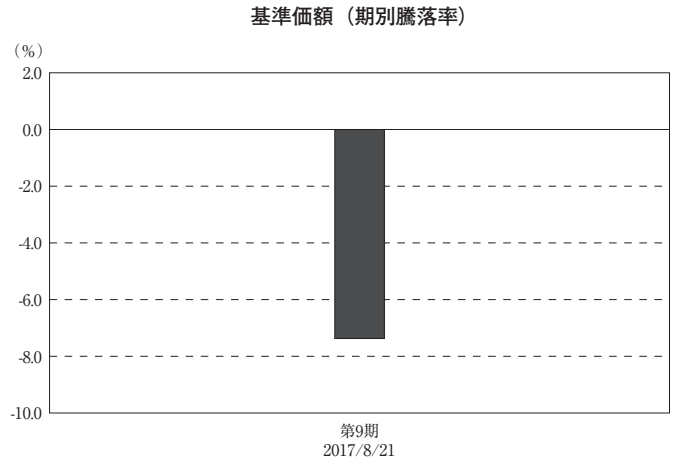
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年2月21日～2017年8月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

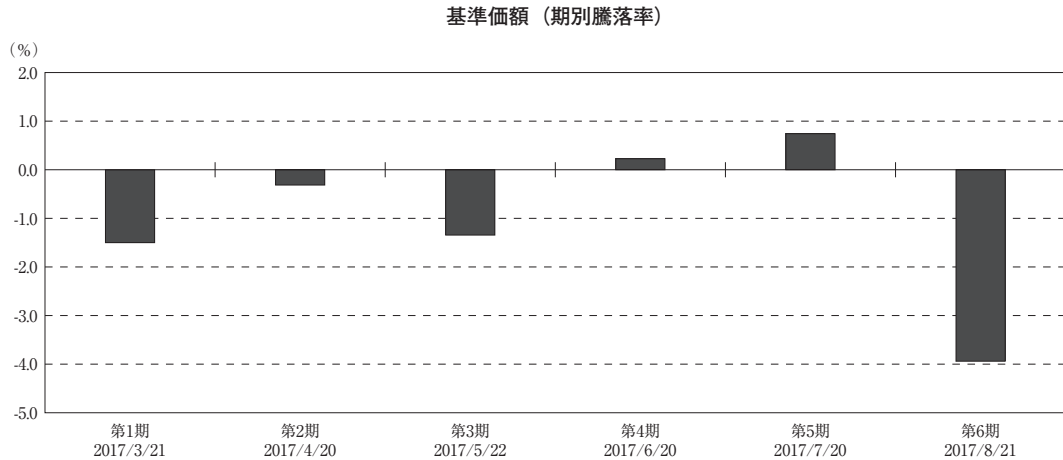
## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年3月6日～2017年8月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

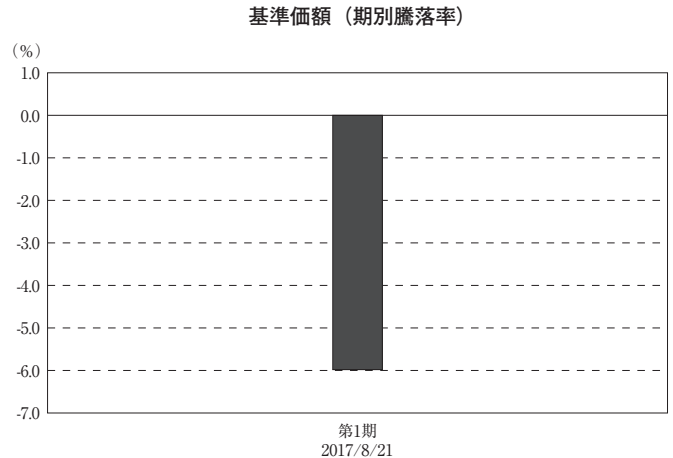
## &lt; L M・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型） &gt;

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年3月6日～2017年8月21日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

## 分配金

（2017年2月21日～2017年8月21日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ○分配原資の内訳

LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期	第54期
	2017年2月21日～ 2017年3月21日	2017年3月22日～ 2017年4月20日	2017年4月21日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	70 0.733%	70 0.762%	70 0.760%	70 0.761%	70 0.759%	70 0.814%
当期の収益	13	-	41	19	9	37
当期の収益以外	56	70	28	50	60	32
翌期繰越分配対象額	2,008	1,938	1,910	1,860	1,799	1,766

LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第16期	第17期
	2017年2月21日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%	- -%
当期の収益	-	-
当期の収益以外	-	-
翌期繰越分配対象額	571	611

LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第9期
	2017年2月21日～ 2017年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,779

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）／（為替ヘッジあり）（年2回決算型） &gt;

## 分配金

（2017年3月6日～2017年8月21日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

（為替ヘッジあり）（毎月分配型）につきましては、初回分配日が第4期決算日（2017年6月20日）となっております。

## ○分配原資の内訳

LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期
	2017年3月6日～ 2017年3月21日	2017年3月22日～ 2017年4月20日	2017年4月21日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)				5 0.051%	5 0.051%	5 0.053%
当期の収益				5	5	5
当期の収益以外				-	-	-
翌期繰越分配対象額				58	62	99

LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型）

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第1期
	2017年3月6日～ 2017年8月21日
当期分配金 (対基準価額比率)	- -%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	85

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## &lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） &gt;

## 今後の運用方針

米国経済に関しては、堅調な雇用情勢などを背景に全般に底堅く推移しており、今後も緩やかな成長基調を辿ると予想されます。

金融政策については、FRBは経済動向を見極めながら、慎重に金融政策の正常化を進めると考えられます。

株式市場については、米国経済が緩やかな成長基調を続けるものと見込まれる中、株価は底堅く推移するものと予想されます。ただし、FRBによる金融政策の動向には引き続き注意が必要です。

MLP市場については、中長期的に強気の見方を維持しています。トランプ政権が米国のエネルギー政策推進に前向きな姿勢を示していることが、MLPを含むエネルギー・セクターへ好影響をもたらすと考えています。また、MLP市場は長期投資家にとってバリュエーション面でも引き続き魅力的な水準にあるとみています。

リート市場については、投資家心理にやや慎重な姿勢が見られるものの、現在のリート市場には割高感はなく、底堅く推移すると予想されます。

為替相場については、米国経済が緩やかな成長基調を継続すると予想される一方、日本では日銀による積極的な金融緩和策が継続されると見込まれることから、米ドルは対円で底堅く推移するものと考えております。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、市場環境を注視しながら、投資魅力が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

< LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）／（為替ヘッジあり）（年2回決算型） >

## 今後の運用方針

米国経済に関しては、堅調な雇用情勢などを背景に全般に底堅く推移しており、今後も緩やかな成長基調を辿ると予想されます。

金融政策については、FRBは経済動向を見極めながら、慎重に金融政策の正常化を進めると考えられます。

株式市場については、米国経済が緩やかな成長基調を続けるものと見込まれる中、株価は底堅く推移するものと予想されます。ただし、FRBによる金融政策の動向には引き続き注意が必要です。

MLP市場については、中長期的に強気の見方を維持しています。トランプ政権が米国のエネルギー政策推進に前向きな姿勢を示していることが、MLPを含むエネルギー・セクターへ好影響をもたらすと考えています。また、MLP市場は長期投資家にとってバリュエーション面でも引き続き魅力的な水準にあるとみています。

リート市場については、投資家心理にやや慎重な姿勢が見られるものの、現在のリート市場には割高感はなく、底堅く推移すると予想されます。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、市場環境を注視しながら、投資魅力度が高く、高配当が期待できる銘柄を選別し、ポートフォリオの構築を行う方針です。

## お知らせ

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

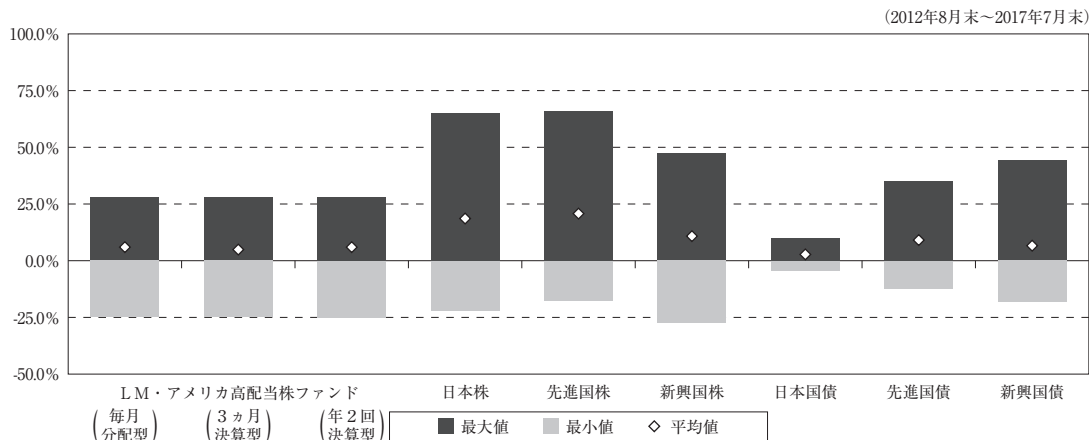
商 品 分 類	追加型投信／海外／資産複合	
信 託 期 間	当 フ ァ ン ド ( 毎 月 分 配 型 ) ( 年 2 回 決 算 型 )	2013年3月8日～2023年2月20日まで
	当 フ ァ ン ド ( 3 ヲ 月 決 算 型 )	2013年7月19日～2023年2月20日まで
	当 フ ァ ン ド (為替ヘッジあり)(毎月分配型) (為替ヘッジあり)(年2回決算型)	2017年3月6日～2023年2月20日まで
運 用 方 針	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の長期的成長を目指します。	
主 要 投 資 対 象	当 フ ァ ン ド	「LM・アメリカ高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	主に米国の金融商品取引所に上場している株式（優先株式を含みます）、MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）および不動産投資信託を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当 フ ァ ン ド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・アメリカ高配当株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 MLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	( 毎 月 分 配 型 ) (為替ヘッジあり)(毎月分配型)	原則として毎月20日。
	( 3 ヲ 月 決 算 型 )	原則として毎年2月、5月、8月および11月の各20日。
	( 年 2 回 決 算 型 ) (為替ヘッジあり)(年2回決算型)	原則として毎年2月20日および8月20日。
	上記各ファンドの決算日（休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。ただし、(為替ヘッジあり)(毎月分配型)の初回分配日は第4期決算日（2017年6月20日）とします。	



## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

< LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）／（3ヵ月決算型）／（年2回決算型） >



(単位: %)

	LM・アメリカ高配当株ファンド (毎月分配型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (3ヵ月決算型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	27.9	28.0	28.0	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△ 24.9	△ 24.9	△ 25.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	6.0	4.9	6.0	18.6	20.8	10.8	2.8	9.1	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型）およびLM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型）は2014年3月以降、LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型）は2014年7月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

#### \*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

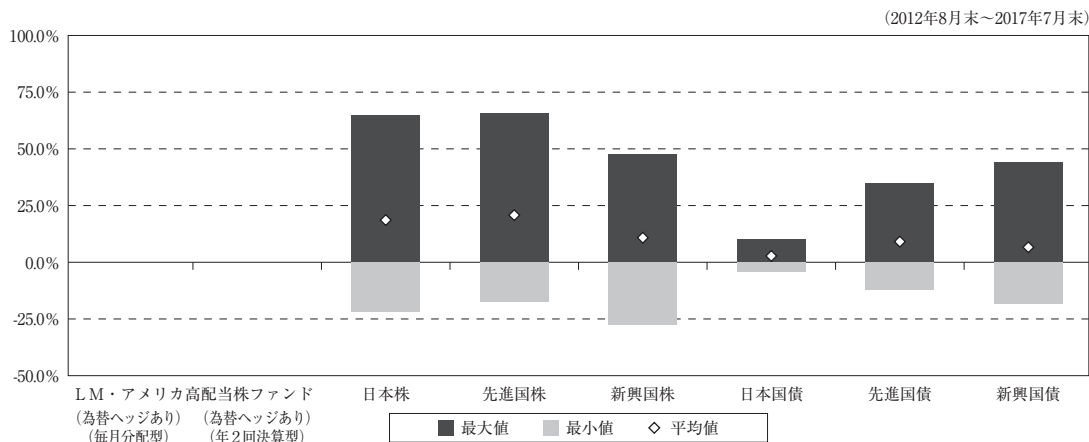
(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

< LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）／（為替ヘッジあり）（年2回決算型） >



(単位: %)

	LM・アメリカ高配当株ファンド (為替ヘッジあり) (毎月分配型)	LM・アメリカ高配当株ファンド (為替ヘッジあり) (年2回決算型)	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	-	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	-	-	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	-	-	18.6	20.8	10.8	2.8	9.1	6.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型）およびLM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型）につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載していません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

\*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（毎月分配型） &gt;

## 組入資産の内容

(2017年8月21日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第54期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.0%
組入銘柄数	1銘柄

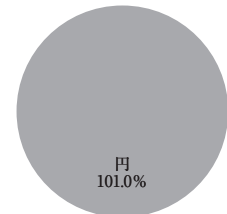
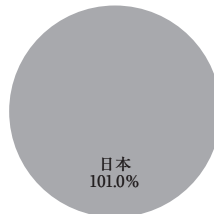
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末	第54期末
	2017年3月21日	2017年4月20日	2017年5月22日	2017年6月20日	2017年7月20日	2017年8月21日
純資産総額	61,755,524,411円	59,678,488,761円	57,955,581,499円	56,512,856,800円	55,054,346,112円	50,391,436,586円
受益権総口数	65,129,756,394口	65,457,685,221口	63,367,973,852口	61,920,810,060口	60,179,859,911口	59,067,445,566口
1万口当たり基準価額	9,482円	9,117円	9,146円	9,127円	9,148円	8,531円

\* 当作成期間（第49期～第54期）中における追加設定元本額は7,891,855,996円、同解約元本額は12,813,152,083円です。

## 当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（3ヵ月決算型） >

### 組入資産の内容

（2017年8月21日現在）

#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第17期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	100.5%
組入銘柄数	1銘柄

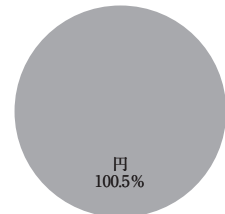
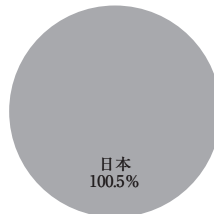
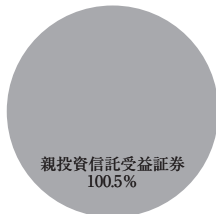
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

#### ○資産別配分

#### ○国別配分

#### ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

### 純資産等

項目	第16期末	第17期末
	2017年5月22日	2017年8月21日
純資産総額	10,221,503,541円	8,805,798,577円
受益権総口数	11,814,201,339口	10,660,953,401口
1万口当たり基準価額	8,652円	8,260円

\* 当作成期間（第16期～第17期）中における追加設定元本額は120,019,591円、同解約元本額は2,366,104,623円です。

## 当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（年2回決算型） >

### 組入資産の内容

（2017年8月21日現在）

#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第9期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	101.1%
組入銘柄数	1銘柄

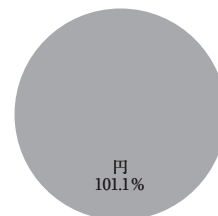
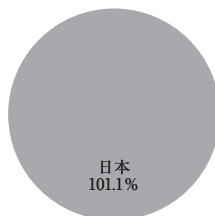
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

#### ○資産別配分

#### ○国別配分

#### ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

### 純資産等

項目	第9期末
	2017年8月21日
純資産総額	15,768,676,252円
受益権総口数	12,366,131,666口
1万口当たり基準価額	12,752円

\* 期中における追加設定元本額は1,004,182,198円、同解約元本額は2,635,685,498円です。

## 当ファンドのデータ

&lt; LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（毎月分配型） &gt;

## 組入資産の内容

（2017年8月21日現在）

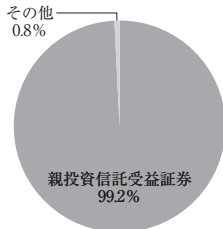
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第6期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	99.2%
組入銘柄数	1銘柄

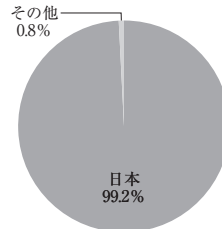
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

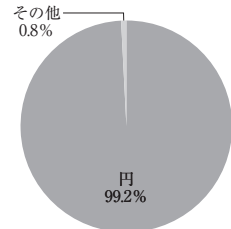
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第1期末	第2期末	第3期末	第4期末	第5期末	第6期末
	2017年3月21日	2017年4月20日	2017年5月22日	2017年6月20日	2017年7月20日	2017年8月21日
純資産総額	19,699,686円	20,598,538円	20,819,893円	21,343,750円	22,006,871円	23,017,694円
受益権総口数	20,000,000口	20,978,251口	21,492,443口	21,994,421口	22,521,532口	24,537,162口
1万口当たり基準価額	9,850円	9,819円	9,687円	9,704円	9,771円	9,381円

\* 当作成期間（第1期～第6期）中における追加設定元本額は4,547,418円、同解約元本額は10,256円です。

## 当ファンドのデータ

< LM・アメリカ高配当株ファンド（為替ヘッジあり）（年2回決算型） >

### 組入資産の内容

（2017年8月21日現在）

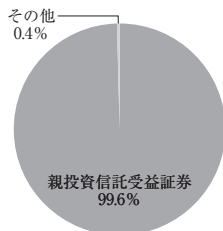
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
LM・アメリカ高配当株マザーファンド	99.6%
組入銘柄数	1銘柄

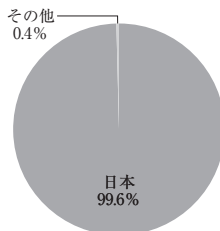
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

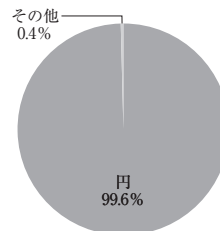
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

### 純資産等

項目	第1期末
	2017年8月21日
純資産総額	33,718,490円
受益権総口数	35,864,874口
1万円当たり基準価額	9,402円

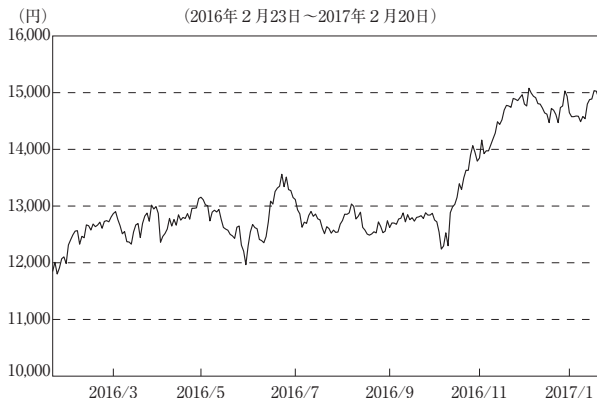
\* 期中における追加設定元本額は15,864,874円、同解約元本額は0円です。

## 組入上位ファンドの概要

### L M・アメリカ高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2016年2月23日～2017年2月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2016年2月23日～2017年2月20日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株資証券) (投資証券) (MLP)	7 (2) (0) (5)	0.055 (0.016) (0.003) (0.036)
(b) 有価証券取引税 (株資証券) (投資証券) (MLP)	0 (0) (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000) (0.000)
(c) その他費用 (その他の費用) (その他の費用) (その他の費用)	17 (1) (15) (1)	0.128 (0.008) (0.112) (0.008)
合計	24	0.184

期中の平均基準価額は、13,179円です。

(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2017年2月20日現在)

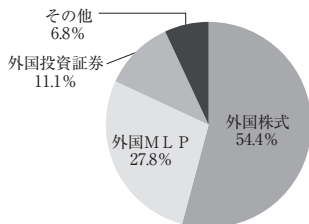
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	MLP	米ドル	アメリカ	3.2%
2 MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	アメリカ	3.2%
3 ENERGY TRANSFER PARTNERS LP	MLP	米ドル	アメリカ	3.0%
4 GENESIS ENERGY LP	MLP	米ドル	アメリカ	2.9%
5 BUCKEYE PARTNERS LP	MLP	米ドル	アメリカ	2.9%
6 LOCKHEED MARTIN CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.8%
7 ARES CAPITAL CORP	金融	米ドル	アメリカ	2.2%
8 BLACKSTONE GROUP LP/THE	MLP	米ドル	アメリカ	2.2%
9 ANADARKO	エネルギー	米ドル	アメリカ	2.2%
10 AT&T INC	電気通信サービス	米ドル	アメリカ	2.2%
組入銘柄数	68銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

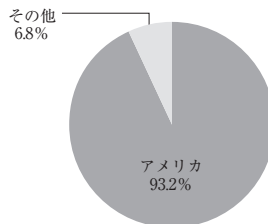
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

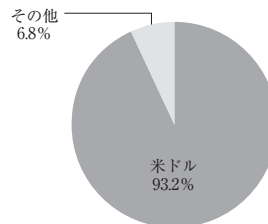
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。